

指導計画例

2020

川小社研 研究主題

ともに生きる未来を創造し、
よりよい社会の在り方を問い続ける社会科学習

令和2年度
4月版

指導計画例 2020

川崎市立小学校社会科学教育研究会

趣旨

先生方による社会科の単元づくり、
授業づくりの活用を目的に作成しました

特徴

1

単元づくりにあたって、内容等の確認事項がチェックできます

ここでは、2. 単元づくりのポイント(1) 教材化として、小学校学習指導要領解説社会編をもとに、単元を通して「何を教えればよいのか」「何を理解させればよいのか」を明記しました。

(例) 3年生「生産」

本單元では、生産の仕事は、自分たちの住む地域には様々な生産に関する仕事があること、産地は市内に分布していること、生産するには一定の順序や工程があること、地域で生産された物は地域の人々の生活に使われていることなどを基に生産の仕事の様子について理解するようにします。また、事例として農家、工場などの中から選択して取り上げるようにします。

何を教えればよいかが明記してあります

取り上げる仕事の範囲を示しています

この単元で理解すべき内容です

これらを参考にして、「うちの学校だと生産の単元では、何を扱ったら良いだろうか、金属加工工場？それとも和菓子屋？販売だと〇〇スーパーが良いかな」など地域の実態に応じて単元を構成してください。また、新学習指導要領では、3年の「市の様子の移り変わり」4年の「自然災害」6年の「国や地方公共団体の政治」など各学年の内容に新しい視点が加わったり内容の構成や内容自体が変わったりしたものもあるので注意が必要です。

2

「理解する」までの学習の過程のヒントが見つかります

新学習指導要領では、「理解する」（「知識」を身に付ける）「調べる・考える・表現する」といった、問題解決的な学習の過程を大切にしています。2. 単元づくりのポイント(2) 学習過程では、学習指導要領解説をもとに、子ども達が「何に注目して、どのような事実を捉え、どのように考えるか」を明記しました。

(例) 4年生「廃棄物の処理」

本單元では、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに注目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考えるようにします。例えば、廃棄物をどのように集め処理しているか、再利用にはどのような方法があるか、どのような関係機関や人々の協力の基に成り立っているかなどの問いを設けて調べたり、その事業と人々の健

調べる視点を示しています

学習問題の例です

康や生活環境を関連付けて考えたりするようにします。本単元は、ごみ、下水のいずれかを選択して取り上げます。また、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うようにするとともに、ごみの減量や水を汚さない工夫など自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮します。

取り上げる対象の範囲を示しています

自分にできることなど、選択・判断することの大切さを示しています

これらを参考にして、1時間だけでなく、小単元全体で問題解決的な学習の過程を大切に単元づくりをしましょう。問題解決的な学習の過程を経ることで(1)の教材化で大切にしている「内容の理解」を確かなものにすることができます。

3

「理解する」「考える」ための学習活動のヒントが見つかります

問題解決的な学習の過程を通して理解したり考えたりするためには、具体的な学習活動が必要となります。**2. 単元づくりのポイント(3) 学習活動**では、学習指導要領解説をもとに、子ども達が「どのようにして情報を集めるか」「集めた情報から何をどのように読み取るか」「調べたことをどのようにまとめるか」を明記しました。

何をどのようにして調べるかが明記してあります

(例) 5年生「稲作」

本単元では、地図帳や地球儀を用いて、国内の主な生産地の位置を調べ、白地図にまとめることや、統計、写真などの資料やコンピュータ等を使って、食料生産に関わる人々の工夫や努力を調べて、図表にまとめるようにします。

調べたことをどのようにまとめるかが明記してあります

これらを参考にして、単元目標の実現のために、どのような学習活動が必要かをイメージしながら単元づくりをしましょう。

4

「主体的・対話的で深い学び」を実現する問題解決的な学習に活用できます

4. 単元の構想と評価では、「主体的・対話的で深い学び」を実現する、問題解決的な学習の進め方を示しています。そのための具体的な手立てとして

- ①主体的な学びを促すために「単元を見通す学習問題」の設定や「予想や学習計画」を立てることを単元に応じて適宜行います
- ②対話的な学びを促すために「見学・調査」「体験」「インタビュー」「話し合い・討論」などの様々な学習活動を行います
- ③深い学びを実現するために、「単元を振り返る学習問題」を設定します。これまでの知識を関連付けたり総合したりして考えることで、着実な理解を育むことができます。

「単元を見通す学習問題」の設定や「学習計画を立てる」場面の例（5年「稲作」）

単元の構想と予想される児童の反応	備考（○）と具体的評価規準
<p>①② 毎日のご飯を食べているという事実から、我が国の稲作について問いを見だし、学習計画を考えられるようにする。</p>	<p>○ 私たちの食生活に欠かせ</p>
<p>3日間の主食調べ ・私たちは毎日のご飯を食べている。稲作について調べよう。 田んぼと食卓（米飯）の写真 ・毎日当たり前のご飯を食べている。稲作について調べて作られているかはよく知らないな。</p>	<p>実際に指導案を作成する際は「備考」ではなく「支援」と明記し、具体的な教師の支援を書きます</p>
<p>（単元を見通す学習問題） 米はどこで、どのようにつくられ、私たちのもとまで届いているのだろうか</p>	<p>その時間のねらいを示しています</p>
<p>【学習計画】</p>	<p>資料とそれに対する子どもの反応です</p>
<p>調べること</p>	<p>（単元を見通す）学習問題を示しています</p>
<p>どこで米が作られているのか</p>	<p>評価について示しています</p>
<p>どうやって</p>	<p>（思一①） いつも食べているお米が自分たちのもとまでどのように届いて</p>
<p>どうやって米を運んで</p>	<p>ここではお示していませんが、評価資料についても明記します。</p>
<p>わたしたちのもとまでお米が届くまでにはたくさんの人たちが関わっていきそうだね。次の時間から調べていこう。</p>	<p>本時でめざす子どもの姿を示しています</p>

この他にも、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手立てが各小単元に適宜掲載されています。

5

「社会的な見方・考え方」を働かせた学習問題の設定に活用できます

新学習指導要領では、「社会的な見方・考え方」（社会科学習ならではの視点や方法）を働かせて深い学びを実現できることを目指しています。そのための手だとして「社会的な見方・考え方」を働かせて考えるような学習問題の設定があります。例えば

位置や空間の広がりの視点（見方）

- どのような場所にあるのか
- どのように広がっているのか
（地理的位置、分布、地形 など）

時期や時間の経過の視点（見方）

- なぜ始まったのか
- どのように変わってきたのか
（起源、変化、継承 など）

事象や人々の相互関係の視点(見方)

- どのような工夫や努力があるのか
- どのようなつながりがあるのか
(工夫 努力 願い など)

比較・分類、総合、関連付け など

(考え方)

比較・分類したり、総合したり、地域の人々や国民生活と関連付けたりするなど様々な方法で考える

このように、単元を通して、いくつかの社会的な見方・考え方をバランスよく働かせながら、社会的な事象の意味や役割を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりするような学習問題を構想することが大切です。

6

「よりよい社会の在り方を考え続ける」社会科学習に活用できます

社会科における「主体的に学習に取り組む態度」の一つとして「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に活かそうとする態度」が示されています。具体的な学習場面では、「(産業の発展などを) 多角的に考える」場面や「社会への関わり方を選択・判断する」場面です。単元のねらいに応じて多角的に考えたり、選択・判断したりする学習問題を設定しています。

多角的に考えたり、選択・判断したりする学習問題の例

川崎市は未来に向けて、市民としてどのように行動すればよいのだろうか

3年 市の様子の移り変わり

自分たちにできる自然災害への備えは何だろうか

4年 自然災害

世界の人々と共に生きていくために大切なことは何だろうか

6年 国際理解

学習指導要領の各学年の「内容の取扱い」に「多角的に考える」「選択・判断」等が示されている箇所

学年	内容	内容の取扱い
3年	(3)「地域の安全を守る働き」	選択・判断
	(4)「市の様子の移り変わり」	発展
4年	(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」	選択・判断
	(3)「自然災害から人々を守る活動」	選択・判断
	(4)「県内の伝統や文化、先人の働き」	選択・判断
5年	(2) 我が国の農業や水産業における食糧生産」	多角的、発展
	(3)「我が国の工業生産」	多角的、発展
	(4)「我が国の産業と情報の関わり」	多角的、発展
	(5)「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」	選択・判断
6年	(1)「我が国の政治の働き」	多角的
	(3)「グローバル化する世界と日本の役割」	多角的、選択・判断